

Management Club Report

Nov.2013/Vol.131

Monthly Opinion 《チームワークと切磋琢磨》

降る雪や 明治は遠くなりけり

作者の名前より有名なこの句は、明治 34 年生まれの俳人、**中村草田男**が昭和の初めに作ったものですが、昭和の時代に青春を送った人には、今ようやくこの句に共感することができるのかもしれませんが。そう「昭和は遠くなりけり」となったのです。

先月の 28 日、プロ野球読売ジャイアンツの元監督であった**川上哲治氏**が亡くなりました。若い方には馴染みが薄いと思いますが、川上さんは戦前戦後を通じた名選手であると同時に、昭和 40 年から 48 年までの 9 年間日本シリーズを制覇する、いわゆる“V9”を達成した名監督でした。

昭和が終わってもうすでに 25 年、四半世紀を経過したことになります。

「えー、平成生まれ!？」といった驚きの声を発しながら新入社員を迎えた話が早くも旧聞に属するようになりましたが、昭和を代表する人物がまた一人世を去ったことには寂しさを禁じ得ません。

川上哲治さんが選手時代に作った様々なバッティング記録は後出の名選手たちによってことごとく塗り替えられていきましたが、監督時代の V9 は一度も破られることのない、正に不滅の大記録となっています。その奇跡的な記録を作り得た要因の一つは『管理野球』と言われた、それまでとは 180 度違うスタイルの“シンキング・ベースボール”を完成させたことに求めることができます。その系譜は広岡、森、藤田といった後輩たちに引き継がれ、更に完成された形で現代野球をリードするまでに成長しています。

今月はそんな強力組織を作り上げた川上哲治さんのエピソードなども引用しながら、その組織論やチームワーク論などを歯科医院経営に応用できないかなど考えてみたいと思います。

1

両雄を並び立たせたリーダーシップ

不滅の大記録 9 連覇を成さしめたもの

「川上巨人の不滅の大記録“V9”は何故作られたか？」

このような問いかけは昔からなされてきました。その解答の一つに、「**長嶋茂雄**、**王貞治**という当時の球界を代表する超強打者二人がいたからだ」というものがあります。長嶋ファンを自ら任じてきた私なども、どちらかという川上さんはあまり好きではありませんでしたので、そう主張する一人でもあったのですが、ただ、好き嫌いは別として冷静に考えれば、その答は間違っていないと思いますが、正解ではないことが分かります。

確かに ON（王、長嶋の頭文字をとって作られた言葉で『オーエヌ』という）